

## 活動報告

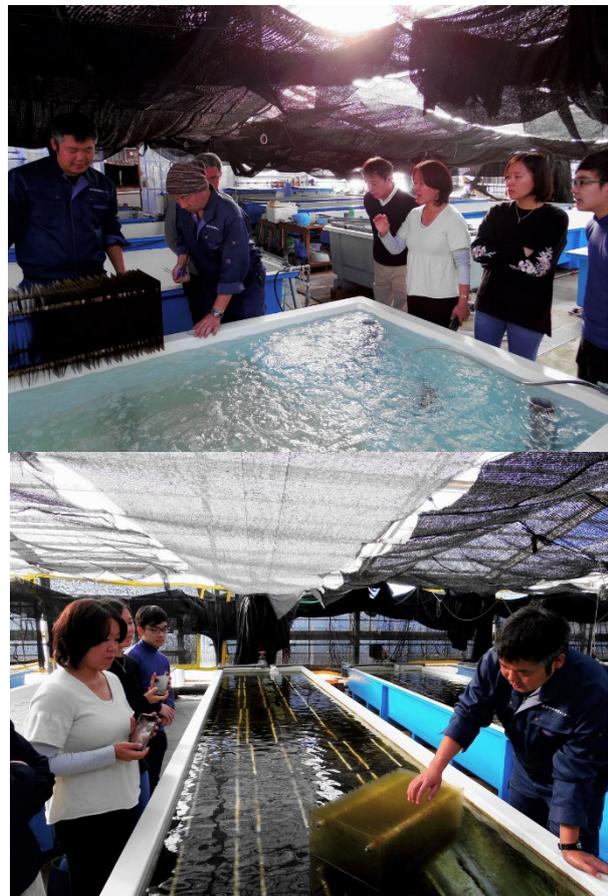
1. 訪問者：Annita YS Kian 准教授（マレーシア大学サバ校）
2. 訪問機関：東京海洋大学、温水利用研究センター沼津分場
3. 対応責任者：濱崎活幸教授
4. 訪問日程：2019年12月1日～4日
5. 活動内容：

### 5-1. 12月2日

東京海洋大学増殖生態学研究室において、Kian 准教授、濱崎教授、および團の3名で Project meeting and Discussion を行った。増殖生態学研究室で実施しているカニ類とエビ類を対象とした幼生飼育技術と生態解明に関する研究について説明するとともに、日本とマレーシアにおけるガザミ類の種苗生産、種苗放流、ならびに養殖の現状と問題点について議論した。

### 5-2. 12月3日

静岡県沼津市の温水利用研究センター沼津分場において研究施設の見学と意見交換を行った。見学者は Kian 准教授、濱崎教授、團に加え、マレーシア留学生2名と日本人学生2名の合計7名であった。沼津分場は、現在日本国内においてノコギリガザミの種苗量産技術開発に取り組んでいる唯一の施設であり、佐竹分場長ならびに池田研究員より研究施設とノコギリガザミの種苗生産の現状についての説明をしていただいた。Kian 准教授からはマレーシアのノコギリガザミ種苗生産の現状についての説明があった。ノコギリガザミの種苗生産は、疾病、形態異常、幼生の栄養要求と餌料栄養の不一致などの克服すべき課題が多く残されており、これらの問題についての活発な議論が行われた。





6. 改善点、提案等：

特になし

(報告記述：東京海洋大学・團 重樹)